

第2回JDKF.空手道競技大会実施要項

全国の聴覚障害者が空手道を通して武道に親しみ理解を深めながら、その競技力の向上を図る。参加者同士の親睦を図るとともに、聴覚障害者に対する理解と認識の向上を図り、聴者との共存社会に結びつけることを目的とする。日本におけるろう者の空手道の普及と発展、認知度向上を目的として開催する。

1. 大会名 第2回JDKF.空手道競技大会
2. 主催 全日本ろう者空手道連盟(以下JDKF.)
3. 主管 全日本ろう者空手道連盟東京都支部
4. 後援 公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟
5. 日時 2019年1月27日(日)
6. 会場 Bumb東京スポーツ文化館(マルチスタジオC)
〒136-0081 東京都江東区夢の島2丁目1-3 電話(代表)03-3521-7321
7. 大会日程
 - (1) 選手集合 9:00～
※練習時間は9:00～9:50までとする。
 - (2) 審判会議 9:30～
 - (3) 開会式 10:00～
 - (4) 競技開始 10:30～
 - (5) 競技終了 15:30(予定)
 - (6) 閉会式 15:30～16:00(予定)

6. 種目

形	組手
(1) 幼児(年中・年長のみ)形(男女混同)	(6) 幼児(年中・年長のみ)組手(男女混同)
(2) 小学1・2・3年生 形(男女混同)	(7) 小学1・2年生 組手(男女混同)
(3) 小学4・5・6年生 形(男女混同)	(8) 小学3・4年生 組手(男女混同)
(4) 中学生 形(男女混同)	(9) 小学5・6年生女子 組手
(5) 高校生・一般 形(男女混同)	(10) 小学5・6年生男子 組手
	(11) 中学生女子 組手
	(12) 中学生男子 組手
	(13) 高校生・一般女子 組手
	(14) 高校生・一般男子 組手

7. 競技規定

(ア) 形の部個人戦:

- ① トーナメント方式で準決勝までは2名同時に演武、決勝戦のみ1名ずつ演武。ただしプログラム進行によっては決勝戦まで2名同時に演武する場合もある。
- ② 3位決定戦を行う。ただし、3名以下のトーナメントの場合は行わない。
- ③ 勝敗は審判員3名or5名の赤・青旗の多数決により決定する。ただし、必要に応じて審判員が協議し、決定する場合もある。
- ④ 形は「基本形」および「全空連第一指定形」「全空連第二指定形」「全空連得意形リスト」から自由選択とする。
- ⑤ 初戦から決勝まで同じ形を繰り返し演武できる。
- ⑥ 形名の申告は、演武開始前に形名ボードを見せてから行うこと。
- ⑦ 形名の申告は、手話での表現も可とする。

(ウ) 組手の部個人戦:

- ① トーナメント方式で行う。
- ② 3位決定戦を行う。ただし、3名以下のトーナメントの場合は行わない。
- ③ 競技時間は、1分30秒間フルタイムとする。
- ④ 勝敗は、競技時間内に6ポイント差が生じた時点又は競技終了時点で、得点の多い選手を勝ちとする。同点の場合は、規定により先取した選手を決定する。

(エ) 安全具:

- ① 組手全種目の競技において、全空連公認の拳サポーター、同メンホー及びボディプロテクターの着用を必須とする。
- ② 全空連、高体連およびWKF公認のインステップガード、シンガードの着用を必須とする。
- ③ 男子選手(小学5年以上)はファウルカップを必ず着用すること。(小学4年以下は任意とする。)
- ④ 安全具は各自において用意し、安全具着用のない選手は参加できないので、充分注意すること。

(オ) 服装:

- ① 監督・コーチ等
 1. 白の空手衣を着用すること。
 2. 監督・コーチ・指導者は、IDカードを明示すること(IDカードは、大会当日の受付時に交付する)。
- ② 選手
 1. 競技規定に沿った白の空手衣を着用すること。
 2. 胸マークは自由とする。
 3. 金属類のヘアーバンド等の着装は認めない。
 4. 形競技での補装具の装着を認める。
 5. 組手競技での補装具は、事前に安全を確認されたものについてのみ、その装着を認める。

9. 表彰

形・組手両方ともに以下の通り表彰する。

(ア) 種目別毎に第1位、第2位、第3位(1名)の選手にメダルを授与する。

(イ) 参加者全員に参加賞を授与する。

10. 審判

審判員は、全空連公認地区又は全国形・組手審判員の有資格者から選任するものとする。

11. 出場資格

(ア) 選手

- ① 身体障害者手帳(1級~6級)の所有者、または手帳所有に準ずる難聴者であること。
- ② 全日本ろう者空手道連盟会員であること。未登録の選手は出場申込期日までに会員登録をすませしておくこと。
- ③ 聴者の場合、全日本ろう者空手道連盟の賛助会員であること。未登録の場合は出場申込期日までに賛助会員登録をすませしておくこと。
- ④ 参加者が極端に少ない場合は形演武のみ、組手3名以下の場合はリーグ戦とすることもある。

(イ) 監督・コーチ・指導者

- ① 全日本ろう者空手道連盟会員であること。未登録の場合は出場申込期日までに会員登録をすませしておくこと。
- ② 出場選手が所属する道場および空手道部の師範またはそれに準ずる指導者であること。

12. 出場申込規定

申込締切日 **2018年11月21日(水)まで** (出場費用等の送金も同日締切)

(ア) 同一者が、形と組手の両方の競技に参加することを認める。

(イ) 申込締切後のキャンセル、変更は受けつけない。

(ウ) 当日、大会不参加の場合でも出場費等の返金はしない。

(エ) 出場費は、1種目につき3,000円とする。

(オ) 弁当(1個につき800円)を希望する場合は出場費と一緒に振り込むこと。

(※原則、会場への弁当持ち込みは禁止。)

(※施設内に売店・レストランあり。)

(カ) 次のいずれかの方法で出場申込みをすること。

① 郵送による申込方法

所定の申込書に必要事項を記載の上、下記住所宛に郵送すること。

なお、文書の提出と併せて、申込書のデータファイル(監督・コーチ・指導者及び選手名簿)を下記アドレスへメールにて送信のこと。

【宛先】〒163-1401 東京オペラシティ郵便局留
全日本ろう者空手道連盟 事務局 山崎 由美子 宛

【メールアドレス】jdkf.karatedo@gmail.com

② フォームによる申込方法

下記のURLにアクセスし、申込フォームの必須事項を入力の上、申込みこと。

【出場申込フォーム】

PC・スマートフォン：<https://ws.formzu.net/fgen/S15533437/>

携帯電話(ガラケー)：<https://ws.formzu.net/mfgen/S15533437/>

(どちらでもない場合は、<https://ws.formzu.net/dist/S15533437/>)

(キ) 出場種目数の合計額(および弁当個数の合計額、宿泊費)を次の口座へ送金すること。

【出場費・弁当代・宿泊費の振込先】

三菱東京UFJ銀行 練馬光が丘支店

普通預金 0135939

全日本ろう者空手道連盟 ゼンニホンロウシャカラテドウレンメイ

13. 健康・安全管理

(ア) 出場に際しては、医師の診断を受けるなど、自己の責任において健康と安全に充分留意すること。

(イ) 大会会場においては、応急措置を行うが、症状により救急病院での診察治療も必要となることも考慮し、選手は健康保険証、障害者手帳等、治療に要するものを必ず携帯すること。

(ウ) 万が一の怪我に備えてスポーツ傷害を対象とする保険(スポーツ安全保険、スポーツサポート保険等)に加入することを推奨する。

14. 宿泊等

(ア) 遠方から出場する選手のために前泊の斡旋を行う。(但し宿泊定員に達したら終了)前泊宿泊：BumB東京スポーツ文化館内宿泊施設

宿泊費：少年(中学生まで)3,000円、高校・大学生4,000円、一般5,000円

(朝食込み。5人和洋室またはツイン洋室。希望する部屋タイプの選択は不可。)

(イ) 宿泊費は出場費と一緒に送金すること。

(ウ) 前泊者は自主稽古のための練習場(マルチスタジオC)を利用することが出来る。(夜21時まで利用可)

(エ) 交通費、宿泊費は自己負担とする。

15. その他

(ア) 選手は開会式、閉会式には必ず参加すること。

(イ) 本大会への申込書に記入した個人情報については、個人情報保護関係法令を遵守し、本大会への参加調整事務のみ使用し、それ以外の目的には使用しない。また、不要になっ

た個人情報書類は責任を持って破棄する。

- (ウ) 前日練習は、BumB東京スポーツ文化館（マルチスタジオC）午後13時～17時の間とする。ただし前泊者は21時まで利用可。
- (エ) ゼッケンはJDKF.で作成し、各選手宛に1月中旬までに送付する。

以 上